

第2回 多摩市産業振興推進会議議事録

| | | |
|-------|-----|---|
| 日 | 時 | 令和6年2月21日(水) 午後6時00分から午後7時45分まで |
| 会 | 場 | 多摩市役所 東庁舎会議室 |
| 議 | 題 | (1) (仮称)多摩市産業振興マスタープラン策定に向けた部会の設置について |
| 報 | 告 | (1) 第1回多摩市産業振興推進会議議事録について (2) 地域未来投資促進法に基づく多摩市地域経済牽引事業について |
| 出席委員 | 会 長 | 松本 祐一 |
| | 副会長 | 石原 義仁 |
| | 委 員 | 竹内 利明 |
| | 委 員 | 岩井 隆之 |
| | 委 員 | 十河 信介 |
| | 委 員 | 木村 康二 |
| | 委 員 | 沖田 敏浩 |
| | 委 員 | 田口 真弘 |
| | 委 員 | 神田 篤 |
| | 委 員 | 横溝 惇 |
| | 委 員 | 荒木 喜美子 |
| | 委 員 | 佐藤 稔(都市整備部長) |
| | 委 員 | 磯貝 浩二(市民経済部長) |
| 欠席委員 | | 佐伯 瑞絵(委員) |
| 事務局職員 | | 渡邊経済観光課長 商工観光担当：緒方、沢出、豊泉、川田 |
| 配布資料 | 資料1 | 委員名簿 |
| | 資料2 | 第1回多摩市産業振興推進会議議事録 |
| | 資料3 | 東京都多摩市基本計画(概要) |
| | 資料4 | 地域未来投資促進法に係る基本計画 効果検証 |

(開会時刻：午後6時00分)

- 事務局 会議の開始を宣言、今回の会議はワークショップ形式での開催とする。
配布資料をタブレットにて確認。
交代した委員の自己紹介をお願いする。
- 会長 過半数以上の委員の出席があり、会議開催が成立することを報告する。
「報告」(1)(2)から先に説明することについて事務局からの申し出があったがいかがか。
委員より「異議なし」との発言があった。
報告の(1)「第1回多摩市産業振興推進会議録について」、報告の(2)「地域未来投資促進法に基づく多摩市地域経済牽引事業について」事務局から説明を求める。
- 事務局 報告(1)「資料2 第1回多摩市産業振興推進会議議事録」により説明。
報告(2)「資料3 東京都多摩市基本計画（概要）、資料4 地域未来投資促進法に係る基本計画 効果検証」により説明。
- 会長 質問等はあるか、「ない」ようなので、議題の(1)「(仮称)多摩市産業振興マスタープラン策定に向けた部会の設置について」審議を始める。事務局から説明を求める。
- 事務局 部会の設置に係る協議の進め方、多摩市の現状、マスタープランの概要について説明。
続いて、松本会長から注意事項等について説明をお願いする。
- 会長 グループワークについての注意事項の説明。
- 事務局 各グループの進行役により、進行をお願いする。
- 各グループ グループワークで協議。
- 事務局 グループワークを終了し、協議結果の発表をお願いする。
- 会長 働き方が大きく変わってきたこと、聖蹟・多摩センターの盛り上がりもだいぶ変わってきたことなど、大きく5つのキーワードでまとめた。
1つ目は、人と働き方の部分、人手不足がある中で、多摩市を愛する人や外国人が働けるようになったほうがよい、ブルーワーク的な人材、交通関係などをどうしたらよいか、また、学生が多摩市の企業を知り働きたいと思うような取り組みを行ったほうがよいなど。
2つ目は、脱炭素社会の実現、エネルギーコストが高まっている中で自然エネルギーを活用することを促していくことが必要。
3つ目は、賑わいについて、サンリオピューロランドがあるが、泊まる場所がない、大人が飲める場所がないのでそういったものが必要。
4つ目は、住環境について、良質な住環境として発展してきた多摩市だが、状況の変化の中で、現在の都市計画の中の様々な縛りが、今後の新たな方向性にマイナスの要素が働くので、そのようなところを少し緩和して考え直していくことも必要、プランディングとして若い人が住めるような街としての方向性を考えることも必要。
5つ目は、DXの活用で、生活の中でも活用を促すことが必要。
- 副会長 働き方の価値観が変わった、特に若い人の仕事の価値観が大きく変わった。生涯一企業で添い遂げようと思って入ってくるものがないので、雇用の柔軟性を確保してエンゲージメントを高められる会社が生き残れる、繁栄していける、そのような企業を誘致していくことが必要。

若い人に起業をしてもらう角度で考えると、駅近だと面積の広いテナントはあるが、小さいモールスタートできるような商業施設が少ないので、ニュータウンで5階建ての建物があった場合、高齢者は5階まで上がっていくのが難しいので、5階部分をワーキングスペースに活用したりすることなどをできるようにすること。街中にカフェなど魅力ある飲食店がないなど、若い人に魅力あるファシリティが少ない。大学生が多いが街を回遊してくれないので、そこを改善すればテコ入れできるのではないか。

市民経済部長

人の問題、街の魅力の問題、新たに挑戦できる条件が必要だとの話が出た。

人の問題の話で、製造業は求人を出してもなかなか集まらないといった状況がある。市でも同じ状況で、労働力不足の問題は出てきている。その中で、海外からの人材や学生等により幅広く入ってきてもらえれば良い。

働く環境について企業が取り組んでいることとして、レストランやバーをつくるなど、その会社で働きたい、働いてよかったと思うような環境を作る。一方で、モノづくりの企業においては、新しい事業を始めるために必要となる建物を建てられる場所がない、車通勤するのに駐車場がない、バス路線がないなど、従業員の働く環境としては非常に厳しい部分がある。

街の魅力といったところでは、聖蹟桜ヶ丘エリアは小さい店があり、出て行ってもすぐに新しい店が入ってくるが、多摩センターエリアでは、大きい店舗が多い中で、入れ替わりが少なく、個性的なところが少ない。生活するにはよいが、来たいと思える場所が少ないなど、魅力ある場所を用意しておく必要があるのではないか。

挑戦できるというところでは、日本国内でも学生時代から起業して成功している例もいっぱいあるので、若い人材が思ったことをやっていけるような一定程度の仕組み、資金面での支援がないと若い世代は挑戦できないので、支援をしていくようなことが必要なのではないか。

事務局
会長

全体のまとめを松本会長から願います。

今回のグループワークは、次年度に行う部会において細かく議論するためのグループ分けを、どんなテーマでやればよいかを考えるために行った。現実的には3つぐらいのグループ・部会に分かれて行うのが理想的であると思う。

出てきたキーワードとして、一つは、人の問題で採用・働く人・起業・若い人、そこをどう分けるかを考えなければいけない。

もう一つは、街の魅力や賑わいについて、特に多摩センター地域と聖蹟桜ヶ丘地域では街の雰囲気も違うし環境も違うのでそれぞれで別の対策をしないといけない。街の魅力は、働く人をどれだけ呼び寄せられるか、住んでる人たちが住み続けたいと思うところにも関わってくる。若い人を引っ張り込みたい、挑戦したいと思う若い人を引っ張ってきたいなど、重複する部分もあるように感じた。

DXや脱炭素も重要な要素かとも思うし、これまでずっと行ってきた、創業支援や中小企業支援・対策も入ってくる。

これらをどう分けて、今日まとめるというのは厳しいので、発表と記録をもとに、私と事務局で案を作り、皆さんにお諮りしたい。出た意見をうまく入れながら3つぐらいにまとめたいと思うが、このようなやり方に賛同いただくことでよろしいか。

- 委員全員の拍手により、「賛同」。
- 事務局から何かあるか。
- 事務局 事務局と松本会長で今日の内容をまとめ、3つぐらいのテーマに絞らせてもらう。次回の会議は5月を予定しているが、その前までに連絡・調整しながら、3つのテーマに決定させてもらう。また、メンバーについても調整をさせてもらい、5月に決定する方向で進めさせてもらう。
- 会議終了後、本日の会議の議事録を作成する。会議運用規定において、会長及び会長の指名する議事録署名委員2名による署名が必要となる。議事録署名委員の指名をお願いする。
- 会長 所管部長として機員委員は毎回お願いする。もう1名について、今回は、石原委員にお願いする。その他、何かあるか。
- 事務局 今後の予定について、次回の会議は5月に開催予定。異動等生じた場合は事務局まで連絡をお願いする。
- 副会長 以上で、第2回多摩市産業振興推進会議を終了する。

(閉会時刻：午後7時45分)

会議録：経済観光課商工観光担当作成